

JMC 海外物流セミナー

港湾業務のIT化、効率化に向けた米国ロサンゼルス港の取組み

米国ロサンゼルス港の港湾インフラ、オペレーション見直しの動きは、米国との輸出入取引が多い我が国の荷主企業の物流業務へ与える影響が大きいことから、日本機械輸出組合は、2016年に続き、ロサンゼルス市港湾局、アシスタントディレクターの森本政司氏を講師に迎え、セミナーを開催することいたしました。昨今の貨物量の増大に対応するため、LA港ではこれまでインターモダル輸送の接続向上、荷役作業効率化のためのターミナルオートメーション化等に向け、積極的な取組みが行われてきましたが、昨年からは米国GEのグループ企業、GE Transportationおよび米国税関当局とタイアップしたPort Optimizerと称するパイロットプロジェクトをスタートさせており、LA港に入港する全てのコンテナ船の貨物情報を荷主、船会社、港湾事業者等との関係者全体でリアルタイムに情報共有、連携を図れるシステムを構築することで、コンテナ貨物受渡業務のさらなる効率化に向けて動いています。

セミナーでは森本氏から、港湾業務のIT化、効率化に向けた取組等の最新動向について解説頂きます。参加ご希望の方は、以下セミナー概要をご覧の上、当組合ホームページからお早目にお申し込みください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■ 日時： 2018年4月25日(水) 14:00～16:00

■ 場所： 機械振興会館 6F 6-66会議室 (地図参照)

■ プログラム： (内容は変更になることがあります。)

1. LA港の概要

- ・コンテナターミナル概要と増え続ける貨物量
- ・独立採算で経営されるLA港
- ・今後の取扱量予測

2. 物流のニーズに応じた対応

- ・コンテナ船大型化への対応
- ・鉄道、トラック等との複合輸送への対応
- ・LA港とLB港の連携

3. 主要ターミナルへの投資

- ・荷役業務の自動化 (TraPacターミナル)
- ・シャーシ管理およびコンテナ管理の効率化 (バンプール整備、シャーシ管理のリース会社への委託)

4. 港湾業務IT化に向けた新たな取組み

- ・GE Transportation と進めるPort Optimizer
- ・米国CBPとの関わり



■ 講師 米国ロサンゼルス市港湾局 アシスタントディレクター 森本政司氏

■ 定員 60名

■ 受講料 組合員企業 無料 / 一般:2,000円

■ お申込み方法

参加ご希望の方は、当組合ホームページからお申込下さい。

申込締切日 2018年4月19日(木)

<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm>

※先着順により受付をさせて頂き、定員となり次第受付を終了させて頂きます。

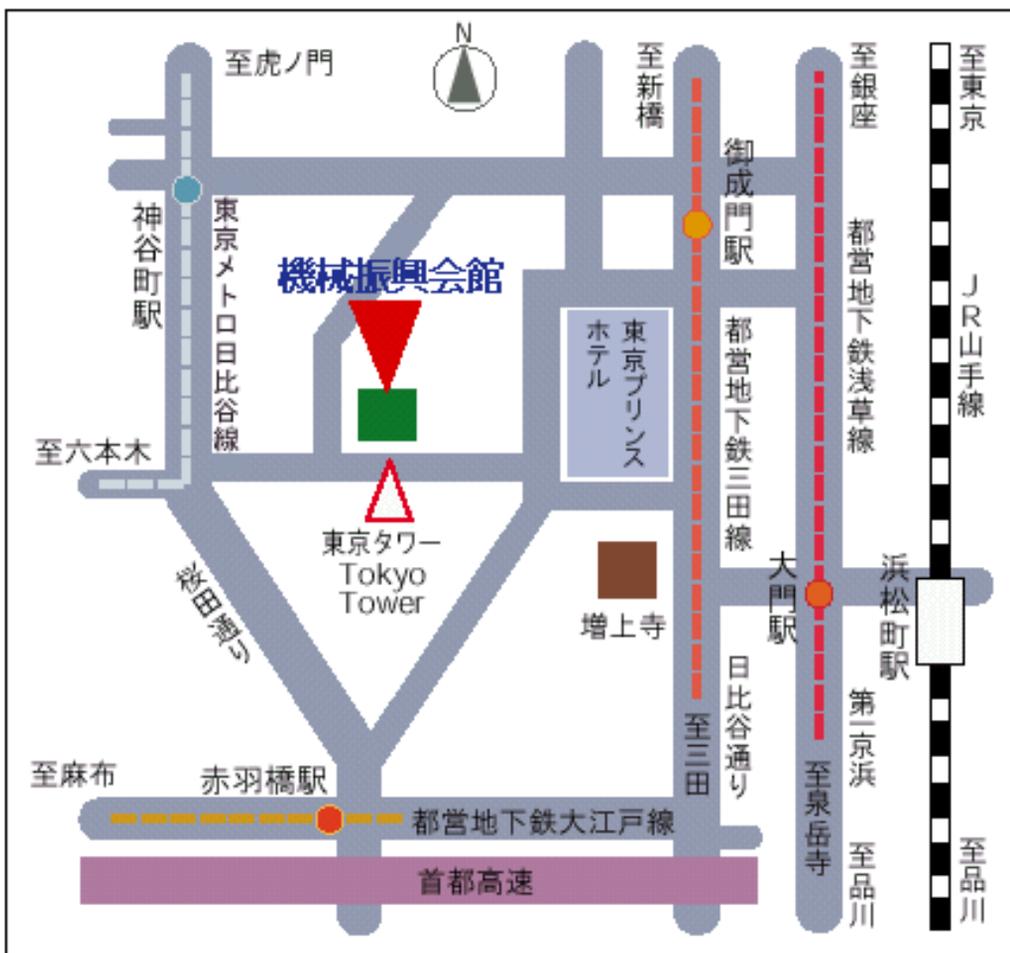
■ お問合せ先：

日本機械輸出組合 部会貿易業務グループ TEL 03-3431-9800・Eメールbukai@jmcti.or.jp

会場へのアクセス

セミナー会場：機械振興会館 6階 6-66会議室

住所：東京都港区芝公園3-5-8



【地下鉄】

東京メトロ日比谷線「神谷町」駅下車 1番出口 徒歩約7分

都営大江戸線「赤羽橋」駅下車 赤羽橋口 徒歩約8分

都営三田線「御成門」駅下車 A1出口 徒歩約10分

都営浅草線「大門」駅下車 A6出口 徒歩約15分

【J R】「浜松町」駅下車 北口 徒歩約18分

【バ ス】「浜松町～東京タワー路線」

「渋谷～東京タワー路線」東京タワー前下車すぐ